

みゅーじあむ・船橋

令和5年3月



第20号

博物館ニュース	[2]
船橋遺跡風景今昔 9 沢之台遺跡	[3]
船橋の遺跡を知ろう！ 発掘される古代の文字 ー墨書土器ー	[4-5]
船橋の明治・大正・昭和 薬園台の150年	[6-7]
インフォメーション	[8]

博物館ニュース

郷土資料館

Web動画でくらしの道具を紹介しています

郷土資料館では船橋市公式YouTube内「ふなばし生涯学習チャンネル」にて、郷土の歴史に親しみや関心を持ってもらえる動画を公開しています。今回は、くらしの道具を解説する動画をご紹介します。

「これな〜んだ？」は、郷土資料館が所蔵する民俗資料で、子どもたちにとってはわからないもの、大人にとってはなつかしいものを選び、どのように使っていたのかをクイズ形式で紹介した動画です。現在、4本の動画が公開中で、合計16個の道具が登場します。

「使ってみよう昔の道具」は、昔の道具について、使い方やその当時の背景等を紹介する動画シリーズです。現在、「七輪」「石臼」「黒電話」の3本の動画が公開されており、当館職員が実際に使用した際の道具の使い心地なども収録されています。

この2つの動画シリーズは、今後も継続して新しい動画をアップロードしていく予定ですので、是非ご視聴ください。



YouTube 動画「これな〜んだ？」

飛ノ台史跡公園博物館

企画展 「学制150年記念展 ガッコウの下の遺跡—船橋の縄文時代中期—」

飛ノ台史跡公園博物館では、令和4年12月17日から令和5年2月5日まで、「学制150年記念展 ガッコウの下の遺跡—船橋の縄文時代中期—」を開催しました。

船橋市は、全国的にみても遺跡の密集地帯ですが、わたしたちの生活に身近な学校の下に遺跡や貝塚があることは、あまり知られておりません。そこで、今回の企画展では、たくさんある市内の遺跡の中でも、学校の下や周辺にある約5,000～4,000年前の縄文時代中期に注目した展示を行いました。

会場となった博物館1階のギャラリーには、高郷小学校（高根木戸遺跡）や七林小学校（沢之台遺跡）などで発見された縄文土器など100点以上や千葉県史にも紹介されている石器、貝殻など約50点を展示しました。



企画展の様子

他にも、学制150年記念展として、明治5年にできた法律である学制によって市内の小学校がどのように始まり、広がっていったのかなど船橋の近代教育について解説したパネルを展示しました。また、船橋市内の学校の下や周りにどのような遺跡や貝塚があるのかを地図に示すなどの展示がありました。

市内の方だけでなく、市外からも来館者があり、たくさんの方に見ていただくことができました。アンケートでは、「子ども達の通う学校の下にこんなに遺跡があるということに驚きました。」「土器の展示量に圧倒されました。全てを間近で見られてすごいと思いました。」などの感想をいただきました。

今後も来館者に満足いただける充実した企画展を計画していきたいと思えます。



企画展ポスター

沢之台遺跡のあらまし



沢之台遺跡は七林町にあります。七林小学校建設に先だって、昭和54年(1979)に1次発掘調査が行われました。翌年七林小学校は開校します。

←遺跡の範囲



↑遺跡北東部から空撮 黄線1次発掘範囲

北側にある飯山満川をはさんだ対面の台地上には、高根木戸貝塚、高根木戸北遺跡があります。

1次調査では、住居跡3軒、土坑30基、炉跡1基が発掘されています。また、年代測定や花粉分析が実施されました。スギの花粉が多く見つかり、当時の自然環境などが推測されました。



↑3号住居跡発掘状況



①



②



③



④

出土品について

- ①深鉢形土器(加曾利EⅡ式)縄文時代中期 約4,700年前
- ②深鉢形土器(加曾利EⅢ式)縄文時代中期 約4,600年前
- ③浅鉢形土器(加曾利EⅢ式)縄文時代中期 約4,600年前
- ④石鏃 黒曜石 住居跡より 約4,700年前

沢之台遺跡周辺の今昔 ～同じ場所がこう変わった～



昭和54年(1979)遺跡全景
南側の高層住宅から撮影



令和4年(2022)12月風景
七林小の屋上から撮影



昭和54年(1979)遺跡発掘風景
北東から撮影、左に高層住宅、右に七林中



令和4年(2022)12月風景
遺跡の地に七林小が建つ

(参考)『沢之台遺跡発掘調査報告書』1980 船橋市教育委員会

『ガッコウの下の遺跡』(令和4年度船橋市飛ノ台史跡公園博物館企画展図録)

(山本 稔)

発掘される古代の文字 — 墨書土器 —

最近パソコンやスマホを使うことが増え、手で文字を書くことがずいぶん少なくなったなと気がつくことがありますか？今回はそんな文字、なかでも古代の船橋市内から大量に出土する土器に書かれた文字の話です。土器は粘土で形を作り焼くと時間がたっても土に戻ることはなく、墨は一度付くと消えることはありません。文字資料としては非常に安定したのですがその反面、土器の割れる性質から文字の全体はわからなくなり、何が書いてあるかわからなくなる場合も多くあります。墨で書かれた痕跡が残る土器は墨書土器と呼ばれています。今回は土器に墨で書かれたものだけでなく、尖ったもので土器に文字を刻んだ線刻の文字も含めて考えていきます。

大量に出土する文字

墨書土器は奈良時代頃から出土し、最も多いのは平安時代です。千葉県は墨書土器が多く出土する地域で、少し古いデータですが千葉県史に関わる資料集成で平成6年までの県内の墨書土器がまとめられ1万点を超える大量の墨書土器が出土しています*1。この集成に収録された船橋市から出土した墨書土器は155点です



図1 遺跡から出土する墨書土器（夏見大塚遺跡(38)）

が、それから約30年が経過し、その間に発掘調査の成果が蓄積され墨書土器は増加しています。

船橋市で墨書土器が出土する遺跡は立地が限られており、東中山台遺跡群、印内台遺跡群、海神台西遺跡、夏見台遺跡、夏見大塚遺跡など市内南西部の遺跡から多くが出土しています。その出土点数は、東中山台遺跡群658点、印内台遺跡群約600点、夏見台遺跡23点、夏見大塚遺跡97点など、現在では1300点を超える膨大な点数になっています*2。

どのような文字が書かれたのか

そのように大量に書かれた文字は一体何の為に？と思いますが、まずは基礎的な情報①どのような土器に文字が書かれたのか ②どこに書かれたのか ③どのような文字が書かれたのか、を整理してみましょう。今回は文字に着目することから、集計の単位を文字とし（1つの土器に複数の文字が書かれる物もあります）、東中山台遺跡群を中心にみていきます。①どのような土器に書かれたのかは、この時代は須恵器と呼ばれる硬い土器と土師器と呼ばれる軟らかい土器があり、墨書土器はほとんどが土師器です。土器の形は表にまとめているとおり圧倒的に坏が多く、それに次いで皿が多くなっており、ほとんどが食器に書かれています。



図2 土器に書かれた文字「福」

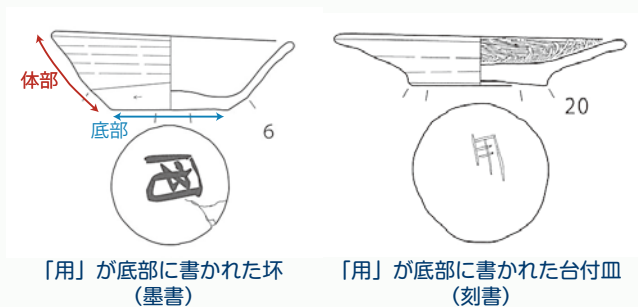
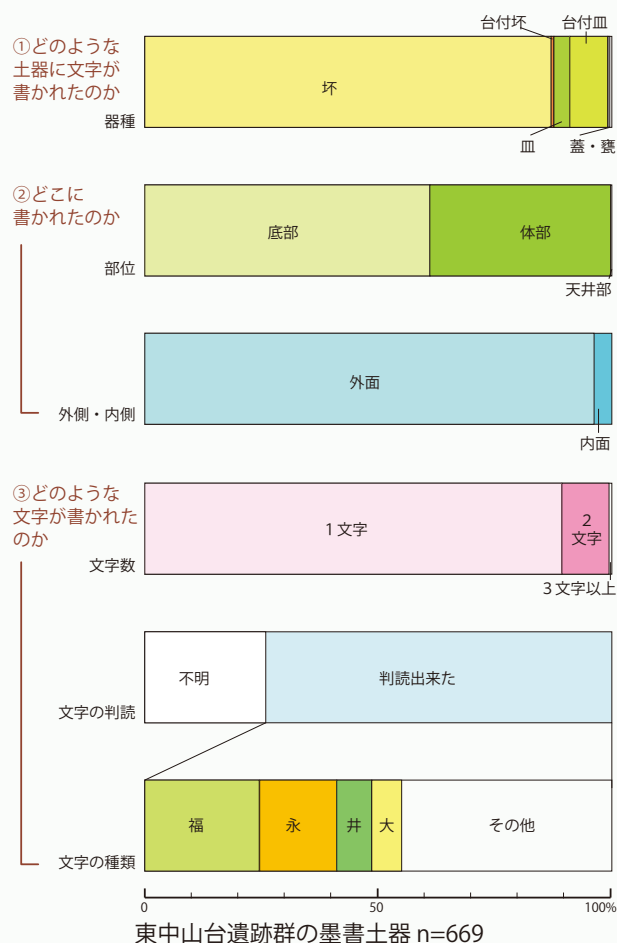


図3 文字の書かれた坏と皿（東中山台遺跡群(53)）

その文字は②どこに書かれたのかというと、約60%が器の底に書かれ、残りの約40%が器の体部(側面)書かれています。器の内側と外側では、内側に書かれるものは3%と少数で、残り96%は外面に文字が書かれます。そして③どのような文字が書かれたのかですが、先にも述べたとおり墨で書かれた文字は消えることはありませんが、書かれた土器のもつ「割れる」という性質のため、文字は書かれているけれどもどのような文字が書かれたのかわからないものが25%あります。判読できる文字の文字数をみると、最も多いのは1文字で90%近くを占め、次に2文字となっており、文章ではなく短いものが多いことがわかります。文字の種類は記号も含めて90種ありますが、上位3字で約5割を占めていることから、書く文字を選択していることが想像されます。最も多く書かれる文字は「福」111点、次いで「永」75点、その次が「井」34点となっています。

なぜ文字が書かれたのか

このような特徴をもつ墨書土器は、同じ文字が同じ場所(遺構)からまとまって出土する傾向があります。そして字の形を見るとかなり独特の字を書いていることが見てとれます(図2)。何かに文字を書くことは、現代に生きる私たちからすると、書いていない他のものと区別するというような用途が浮かびますが、墨書土器を書いた人々は文字を書くことにどのような意味



を見出していたのでしょうか。書かれた面が土器の外側が多い点からは、書いたことがわかるようにという意図があるようですが、書かれる場所は底部が多く、土器を見た人がすぐに文字があるとわかるわけではありません。書かれる文字の種類は「福」「永」「大万」などおめでたい文字が多いことが読み取れます。もちろんそれが名前や地名を省略したものの可能性もありますが、点数がまとまること、そして大量に出土する時期が9世紀～10世中頃に限られることを考えると、墨書土器を使った儀式や行事が行われていた可能性が考えられます。

(狩野 美那子)

※1 『出土文字資料集成』(『千葉県の歴史 資料編 古代』別冊) 平成8年 千葉県

※2 墨書土器の集計は令和4年3月までに刊行された報告書に基づいて行った。

薬園台の150年

薬園台区ハ、所謂成田街道ノ両側ニ沿エテ、人家軒ヲ並べ、直ニ習志野ニ至リ、古昔ハ隣町大和田等ト共ニ街道須要ノ地デアツタ。現今農商相半シ、区民克ク業ニ励ミ、**本町デハ一番賑カナ部落ヲナシテキル。**大正五年騎兵学校移転後人口漸ク増加シ、当区ノ繁栄ハ益々加ハツタノデアル。

旧幕府ノ直領デ、宝歴ノ始メ幕府ノ典医丹羽正伯ナル人ノ開発ニヨル地デ、薬園台ノ名称モ薬草ヲ栽培セシニ由来シタト謂ハレテキル。

『二宮郷土読本』より抜粋

上の文章は昭和7年(1932)頃に書かれた『二宮郷土読本』(『船橋市史 史料編五』収録)という、二宮町(現：船橋市)の郷土研究書に掲載された薬園台(現：薬円台)の概要と紹介文です。二宮町では「一番賑カナ部落ヲナシテキル」と表現された薬園台は、どのように成立していったのでしょうか。

1. 「習志野原」から近代化

薬園台の歴史は享保7年(1722)、幕府の典医である丹羽正伯と薬種問屋の桐山太右衛門が、薬草園開発のために30万坪の土地を江戸幕府から下げ渡されたことから始まります。

薬草園そのものは現在残っていませんが、開発された土地は農村として、また佐倉道(現：成田街道)の休憩所として成立しました。

明治6年(1873)、薬園台の東にある大和田原にて、明治天皇ご高覧の下、政府近衛兵の対抗演習が行われました。この演習を機に「習志野原」と命名された原野は、日本陸軍の演習場となったのです。併せて、^{しゅうしや}廠舎と呼ばれる仮の兵舎が薬園台に建設されました。ここから、成田街道沿いの農村だった集落は大きな変化を見せました。

軍隊が駐屯するにあたり、食糧や燃料の集積や生活必需品を取り扱う商店が必要となります。また、郵便や交通、治安維持などの生活インフラの構築を行うため、近隣地域でいち早く郵便局や乗合馬車、

警察分署が置かれました。つまり、一農村が急激に近代化したのです。いきおい、薬園台は賑わうことになります。

2. 騎兵学校誘致

しかし、その賑わいも明治時代後期に勢いを失います。廠舎が廃止され、正式に陸軍駐屯地が大久保に設置されたことに伴い、軍関連の産業が薬園台から移ってしまったからです。地区の発展を願う住民は、大正元年(1912)に陸軍第一師団に対して「常駐部隊の屯営」を連名で嘆願しました。その後、大正5年(1916)に東京の目黒にあった陸軍騎兵実施学校が、実働部隊である騎兵旅団に近い場所である薬園台に「陸軍騎兵学校」と名を変えて移転します。これにより、薬園台と陸軍との結びつきが強くなりました。



陸軍騎兵学校正門(大正7年頃)

3. 皇室との関わり

薬園台はまた、皇室とのつながりも多くありました。この地を含む習志野原周辺一帯は明治・大正時代に宮内省(現：宮内庁)の御猟場があったことから、明治天皇を始めとした皇族の方々がこの地を訪れては猟を楽しまれたそうです。また、薬園台には明治天皇の宿泊場所があり、専用の門や浴室等が作られた屋敷がありました。明治天皇が宿泊された公式記録はありませんが、その家では、御猟場での猟に際して実際に宿泊されたことが伝えられています。

その他、騎兵学校では多くの皇族の方々も学んでおり、特に三笠宮(昭和天皇の弟宮)は通信学生とし

て在学中に薬園台の街を訓練で走り回られていた、という逸話も伝わっています。

4. ロケ地：薬園台

短期間ではありますが、薬園台は活動写真(映画)のロケ地になっていた時期があります。

昭和6年(1931)、俳優の阪東妻三郎が谷津遊園(習志野市)に制作プロダクションを立ち上げ、時代劇のロケ地としてこの地を使用していました。『薬園台の歴史 正伯物語』によりますと、現在の郷土資料館から北習志野駅へ向かう道が、原野の街道筋にピッタリの風景だったそうで、ロケが行われた日は住民がこぞって見物に訪れたとのこと。昭和11年(1936)にプロダクションが解散したため、わずか数年の娯楽となりました。



谷津遊園の阪妻プロダクション(昭和6年)

5. 東部軍管区教育隊



東部軍管区教育隊地図

上の地図は昭和18年(1943)、薬園台につくられた東部軍管区教育隊の略図です。この施設は太平洋戦争の戦況により下士官の不足を補うために作られ、後に幹部将校育成施設になりました。敷地は、

南北は現在の成田街道から新京成線習志野駅手前まで、東西は薬園台公園から新京成線手前の公務員住宅までの約25万㎡という巨大なもので、ここに約千人の候補生と教員や事務員、作業員が集まりました。

ここで教育隊に赴任した、繁田裕司中尉という一人の将校を紹介します。軍楽隊出身ではないのに教育隊の隊歌を作曲したところ大評判となる、また炊事場の一角に「秘密の図書室」と称して世界文学全集を作り、本好きの候補生に開放するなど、風変わりといか言いようのない人物でした。

戦後、繁田中尉は音楽家「三木鶏郎」という芸名で、船橋市民に馴染み深い「船橋ヘルスセンターのテーマ」を始めとした様々な楽曲、コマーシャルソングを手がけました。

6. 「園」から「円」へ

戦後、薬園台は住宅開発に伴うベッドタウン化が進みます。昭和22年(1947)、陸軍鉄道連隊の訓練用線路を利用した新京成線が津田沼-薬園台間で開業し、また同28年(1953)に二宮町が船橋市と合併したことで、薬園台は船橋市となりました。

昭和48年(1973)、住居表示の変更に伴い、薬園台は「薬円台」と名称が変わります。これは当時の当用漢字に差し替えたものですが、それ以前から地区の住民は「円」の字を使っていた節があり、大きな反対もなかったそうです。

この変更に伴い、市の施設や教育機関などは「薬円台」に改称しましたが、その他の施設は任意変更でした。「県立薬園台高等学校」や「新京成線薬園台駅」がそのまま残っているのは、その名残です。

今回取り上げた内容は、薬円台公民館福寿大学「薬円台300年の歴史」(令和4年12月20日)で紹介したものです。今後も地域の皆様に分かりやすく、また親しみやすい題材を取り上げて、講座などでご紹介できれば幸いです。(小澤 重和)

<参考資料>

- 『船橋市史 史料編五』(昭和59年 船橋市)
- 『薬園台の歴史 正伯物語』(平成13年 船橋市郷土資料館)
- 『資料館だより 第67号』(平成8年 船橋市郷土資料館)

インフォメーション

※両館の行事の詳細は、毎月1日号の『広報ふなばし』でお知らせいたします。
 ※日程・内容に変更が生じる場合がございます。最新の情報は、ホームページをご確認いただくか、直接両館にお問い合わせください。

郷土資料館

※薬円台公園内のSLの運転台を、毎週土曜日・日曜日・祝日（年末年始・雨天時を除く）の午前10時～午後4時に公開しています。

【令和5年9月までの主な行事予定】

期 日	行 事 名	会 場
5月27日(出)～6月11日(日)	令和5年度船橋市出張美術展 共催：文化課	郷土資料館 3階 第2展示室
6月3日(出)	地域史講座「団地の時代」(仮) 共催：高根台公民館	高根台公民館
7月15日(土)～9月10日(日)	企画展「私たちのまなびや」	郷土資料館 3階 第2展示室
7月～8月（のうち約1ヶ月）	企画展 「早慶戦の大乱闘 リンゴ事件90年」	吉澤野球博物館資料展示室 (船橋アリーナ)



協力：
船橋市華道連盟

飛ノ台史跡公園博物館

※飛ノ台史跡公園博物館では、毎週土曜日・日曜日・祝日の他、小・中学校の夏休み・冬休み・春休み期間中に、小学校4年生から大人向けのワークショップを実施しています。

【令和5年9月までの主な行事予定】

期 日	行 事 名	会 場
7月16日(日)～8月27日(日)	第22回縄文コンテンポラリー展	飛ノ台史跡公園博物館



「ふなばし生涯学習チャンネル」では、両館の職員手作りの学習動画を配信しています。➔

ご利用案内・交通案内

郷土資料館

開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
住 所 船橋市薬円台4-25-19
電 話 047-465-9680
F A X 047-467-1399
Eメール kyodo@city.funabashi.lg.jp

交通案内

新京成線 習志野駅下車徒歩10分
 JR津田沼駅北口から
 船橋新京成バス・ちばレインボーバスで
 「郷土資料館」下車徒歩2分



飛ノ台史跡公園博物館

開館時間 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
入館料 一般110円(団体20名以上70円)
 児童生徒50円(団体20名以上30円)
 市内在住中学生以下 無料
住 所 船橋市海神4-27-2
電 話 047-495-1325
F A X 047-435-7450
Eメール tobinodai@city.funabashi.lg.jp

交通案内

東武アーバンパークライン
 新船橋駅下車徒歩8分
 京成本線 海神駅下車徒歩15分
 東葉高速線 東海神駅下車徒歩12分
 船橋新京成バス
 JR船橋駅北口から山手ループ線
 「海神中学校前」下車徒歩1分



休館日カレンダー

4月							5月							6月							7月							8月							9月								
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
						1		1	2	3	4	5	6							1	2	3							1							1							1
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9		
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16		
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23		
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31	25	26	27	28	29	30	23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	31	24	25	26	27	28	29	30								
30																			30	31																							

☐ は郷土資料館、飛ノ台史跡公園博物館休館日 ※都合により、休館日が変更になる場合があります。